

倫理審査委員会議事要旨

1. 日時 令和2年10月15日(木) 15:56 ~ 16:10
2. 場所 ミーティングルーム
3. 出席者 副院長、薬物依存治療部長、長嶋医師、看護部長、薬剤科長、
矢崎外部委員
庶務班長(書記)

※委員の3分の2以上の出席がありましたので委員会を開催

4. 要旨

課題名① 薬物使用障害における精神科医療施設と回復支援施設の連携のあり方
(申請者 副看護師長(10病棟) 加藤 照代(新規))

申請者

- 倫理審査申請書に沿って説明。

委員

- 対象は患者じゃないということか。

申請者

- はい。施設職員と精神科医療施設の職員が対象です。

委員

- 期間は令和2年4月1日からではなく、倫理会議承認後からになると思うが。

申請者

- わかりました。期間は変えます。

委員

- 発表はするのか。

申請者

- アディクション看護学会で発表します。

【審査結果】

課題名① 薬物使用障害における精神科医療施設と回復支援施設の連携のあり方

上記の申請について、研究期間の修正が確認出来たら、承認ということよろしいか。
→条件付承認とする。

課題名② 千葉県内精神科病院における外国人入院患者の実態調査
(申請者 専門職 本吉 勇二 (新規))

申請者

- 倫理審査申請書に沿って説明。

委員

- 一例登録ごとに研究費が当院に入ってくるのか。

申請者

- 当院にお金が入ってくることはありません。

委員

- 研究期間が当院に関しては、倫理会議承認後からにしてもらいたい。

申請者

- わかりました。

委員

- オプトアウトの文書は掲示だけでホームページには載せないのか。

申請者

- 今のところ考えていないが、載せるようにします。期間はいつまでにすればよろしいですか。

委員

- 研究期間終了の来年の3月31日まででよいと思う。

申請者

- わかりました。

委員

- 当院以外にも他の千葉県の病院に依頼しているのか。

申請者

- はい。救急システム事業に参加している基幹病院と輪番病院すべてです。

委員

- オプトアウトの文書に当院の名がないので、当院で掲示する時は当院の名を入れてもらった方がよい。

申請者

- わかりました。

委員

- 質問表について過去の人たちは日本語が話せたのか。

申請者

- カルテの記載が元になりますが、不明な所は空欄で構わない。

【審査結果】

課題名② 千葉県内精神科病院における外国人入院患者の実態調査

上記の申請について、研究期間の修正と当院に合わせた細かい文言を直してもらい、修正が確認できたら承認ということによろしいか。
→条件付承認とする。

以 上